

# 阿波市 議会だより

第36号 年4回発行  
[平成27年9月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会  
〒771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字古田201番地1  
電話 0883-36-8750 FAX 0883-36-8764  
ホームページアドレス <http://www.city.awa.lg.jp/gikai/>

## 平成27年第2回

## 阿波市議会定例会の概要

第2回定例会は6月9日から29日までの26日間の会期で開かれました。開会日には野崎市長から、本市の少子化と人口減少を克服し、将来にわたって活力ある地域を維持するための、全庁的な施策を推進する「阿波市まち・ひと・しごと創生本部」の設置について、阿波市戦没者追悼式について、NPO法人との「大規模災害時における施設使用に関する協定書の締結」や、日本赤十字社徳島県支部からの災害用移動炊飯器の寄贈、第1回阿波市総合教育会議の開催などについて報告と説明がありました。このあと、平成27年度一般会計補正予算などの概要と提案理由の説明がありました。

代表・一般質問では、7人が市政全般について理事者の考えを問う、地方創生、人口減少とまちづくり構想、財政問題、企業誘致、農業振興、市税、公共施設などについて議論しました。

6月23日に総務、24日に文教厚生、25日に産業建設の各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。閉会日には、委員長による各常任委員会の審査報告があり、市長提出議案をいずれも可決し、追加議案として人事案件4件が提出され同意しました。

阿波市制施行10周年記念事業キャッチフレーズ

「10周年 かがやく阿波市に  
きらめく未来」



### 代表質問

稲岡 正一 議員  
(阿波みらい)



**問** 魅力ある阿波市にするための施策について。今の阿波市に何が足りて、何が足りないのか。  
**答** 本市の誇れる施策として、1、子育て支援の充実。2、老人福祉対策の充実。3、義務教育施設の充実。4、恵まれた自然環境の4項目を掲げる。加えて、新庁舎及び交流防災拠点施設の完成による市の一体感の醸成と、健全な財政基盤が構築できていることが他市に誇れる点である。足りない部分としては、県内多くの市町村に言えることだが、市税等の自主財源が乏しく、地方交付税等の依存財源に頼らざるを得ない財政構造となっている点である。阿波市の誇れるところをより有効活用し、人づくりがまちづくりにつなが

るという考えのもと、市民や企業が参画するまちづくりを地道に行うことが、最善の方策と考

**問** 阿波市の活性化について。今後の重点施策と経済を活性化するための方策は。  
**答** 今年度は阿波市が誕生して11年目となる。平成27、28年度でこれまで進めてきた各種施策の成果を検証し、平成29年度から10年間の「第2次阿波市総合計画」を策定する。また、合併後、まだまだ解決しなければならぬ多くの課題を、市民の方の協力を得ながら、市職員挙げて取り組むたい。

**問** 経済活性化の方策としては、昨年12月に制定された国の総合戦略の4項目を基本目標として、阿波市版総合戦略を策定する。阿波市まち・ひと・しごと創生本部を設置し、阿波市の活性化のための施策を打ち立てていく。  
**答** 経済活性化の方策としては、昨年12月に制定された国の総合戦略の4項目を基本目標として、阿波市版総合戦略を策定する。阿波市まち・ひと・しごと創生本部を設置し、阿波市の活性化のための施策を打ち立てていく。

詳しくは、阿波市ホームページに掲載しています。



松永 渉 議員  
(阿波清風会)



**問** 人口減少による財政への影響は。  
**答** 人口減少による地域経済活動が鈍化した場合、個人消費や設備投資に影響があらわれ税収の減少が想定される。平成32年までの中期財政計画では、市税が約0.4%減少すると見込んで

**問** 総合戦略における政策監が考える基本構想は何か。  
**答** 阿波市の基幹産業であり、県下有数の生産量を有する農業のブランド化、6次産業化、農地集積等の施策が地方創生の柱の一つになると考えている。

**問** 消費増税の使い道は。  
**答** 社会保障がより一層充実できるような施策に充当する。

**問** 合併により行政サービスはどのように向上したか。  
**答** 行財政改革、合併に係る財政支援措置を活用し、財政基盤が強化された。職員配置におい

**問** 地方創生計画について、阿波市地域力向上を目指した総合戦略の取り組み方は。  
**答** まち・ひと・しごと地方創生については、人口減少、少子・高齢化という重要課題に取り組み、地域の特徴を生かし、

### 一般質問

藤川 豊治 議員  
(阿波みらい)



**問** 昨年の12月20日に完成した新庁舎について毎月の維持費はどのくらいか。市民に負担はかかるのか。  
**答** 電気代が1月分196万9千円、2月分約203万円、3月分161万円。水道代は1か月3万5千円から3万8千円前後である。どの使用料も計画予算の範囲内となっている。維持管理委託料は年額4千万円である。建設事業費は、財政計画や償還計画を立てて運用しており、市民に大きな負担はないものと考えている。

**問** 辺地対策事業が、阿波町伊沢谷地区で行われているが、平成26年度と今年、この事業が中断されている。理由は何か。  
**答** 伊沢谷辺地は県指定の地す

**問** 企業誘致は、働く場を確保し阿波市を元気にする。市の取

り組みは、予算額が41万7千円。担当職員は一人でも兼務、昨年訪問した企業はゼロ。ポーズだけで実現に向けての道筋が全く見えない。

**問** 地元の声を要望すると、費用対効果とよく言われる。すべて国民は法の下に平等であり、市長のいう安全・安心・公平とは矛盾すると思うが、今後の計画は。  
**答** 平成28年度から30年度までの3年間の辺地総合整備計画を策定する予定で進めている。地元の見解をしっかりと聞いてから議会に上程したい。今後の辺地対策の課題として、道路だけではなく、その他の整備のことも考えながら対応したい。

**問** 阿波市の現状は、人口減少の低下を招き、それがさらに人口減少を引き起こすという負のスパイラルの兆候が現れている。持続的な発展に向けての考えを伺いたい。  
**答** 合併に伴い、一体感を醸成することに力を注いできた。市民力・地域力を高めながら持続的に発展するよう頑張りたい。

**問** アエルワの食堂は、東京の業者で家賃は無料、メニューは定食・うどん・カレーなどで利用者数も当初見込みの3分の2程度。詰め甘かった計画を検証・総括して、今後の行政運営に真摯に取り組んでいただきたい。  
**答** 食堂はメニューの開発・営業時間等を検討する。行き届かなかつた点は、市民の声を傾け改善すべき点は改善していく。

**問** 企業誘致は、働く場を確保し阿波市を元気にする。市の取



川人 敏男 議員  
(明日の阿波市をつくる会)



**問** 企業誘致は、働く場を確保し阿波市を元気にする。市の取

江澤 信明 議員  
(阿波清風会)



笠井 一司 議員  
(無所属)



**問** 5月1日に阿波市政策監として市原氏が就任された。阿波市の印象と感想は。

**答** 阿波市は自然あふれる農業中心の豊かな農産物の産地であり、昔からのお接待文化がある活力あるまちと感じました。これから阿波市発展のため、誠心誠意業務に取り組みたい。

**問** 市税の収納率について。

**答** 平成26年度の市税収納率は、個人市民税98・1%、法人市民税99・4%、固定資産税97・1%、軽自動車税94・9%、国民健康保険税93・8%となっている。

**問** 税の滞納対策について。

**答** 各税の納期ごとの納付がない場合、納付期限後20日以内に督促状を発布し、催告書、電話催促、納税相談を実施している。なおかつ未納の場合、滞納繰越分となり、催告書を毎年7月に発布する。大口滞納事案は徳島滞納整理機構へ移管している。

**問** 固定資産税について。

**答** 固定資産税は適正な価格、適正な時価を基準として課税され、3年毎に価格を見直す評価替えをする。平成27年度の評価替えで土地全体の課税標準額は、6億8320万円減、宅地は13億1970万円減となっている。

**問** 支所機能の市民サービスについて。

**答** 阿波・土成・吉野の3支所で行政全般にわたる窓口業務を行っている。1支所あたり1日平均88・7件を取り扱っている。地域住民サービスの拠点として信頼される支所を目指す。

**問** 老朽化した公共施設について長期的な視点で更新、統廃合、長寿命化を行うための「公共施設等総合管理計画」の策定要請が、昨年、総務省からあったが、計画作りの進捗状況はどうなっているのか。

**答** 道路等のインフラ施設も含め、公共施設等総合管理計画の策定業務を委託し、現在作業中である。公共施設総量の削減、長寿命化、集約を基本に、平成27年度末までに策定する。

**問** 市営住宅の整備を「阿波市営住宅ストック総合活用計画」に基づいて行っているが、人口予測・建設費とも過大であるので見直しをすべきである。

**答** 市営住宅の統廃合計画については、国の交付金の動向や経済的な面からも、長期的な視野で検証、判断が必要と思われる。本計画は5年ごとに見直しが可能のため、市財政や人口動向を精査し、住宅事情に沿った現実性のある計画への検討も必要になるのではないかと考えている。

**問** 市内には、防犯カメラが設置されていない保育所、幼・小・中学校があるが、速やかに設置すべきではないか。

**答** 防犯カメラの設置について今後検討して参りたい。



## 活動状況報告

### ●東条団地建設現場視察

6月25日、産業建設常任委員会が東条団地建設現場を視察しました。6階建の第1号棟の進捗率は65.7%で10月の完成に向けて順調に工事が進んでいました。

今後も安全に留意して作業がスムーズに進むことを要望しました。



東条団地建設現場視察

### ●市議会議員研修会

7月23日、午後2時から新潟県立大学准教授の田口一博氏を講師に「議会議員政治倫理条例について」というテーマで研修会を開催しました。講師からは、政治倫理に関する検討すべき視点について説明があり、その後、市の現状や課題など活発な質疑・協議がありました。議員としての政治倫理向上と、市民の信頼にこたえることを再認識した研修会でした。



市議会議員研修会

### ●委員会等の開催状況

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 5月28日 議会運営委員会    | 8月10日 全員協議会   |
| 6月23日 総務常任委員会    | 17日 議会広報特別委員会 |
| 24日 文教厚生常任委員会    | 25日 議会運営委員会   |
| 25日 産業建設常任委員会    |               |
| 公営施設（事業）民営化特別委員会 |               |
| 29日 全員協議会        |               |
| 7月7日 全員協議会       |               |
| 23日 議員研修         |               |



## 行政視察受入状況

- |       |     |             |
|-------|-----|-------------|
| 6月29日 | 阿南市 | 「議会議場」      |
| 7月9日  | 尾道市 | 「新庁舎建設について」 |

平成27年第3回定例会は9月1日（火）開会予定です。詳しい日程は、議会事務局（0883-36-8750）までお問い合わせください。



議会だより  
編集雑感

新庁舎となって2回目となる6月議会は、年度が始まったばかりであるためか、7人といつもより少ない代表・一般質問でしたが、新しいテーマである「地方創生」をはじめとして、市政の重要課題について踏み込んだ議論がなされました。今後とも、活発な議論を通じ市民の負託に応えていかなければならないと思っております。

また、議会広報特別委員会では、できるだけ多くの議会情報を盛り込み、かつ、わかりやすい紙面になるよう話し合っており、よりよい紙面づくりのため努力しています。

（笠井 一司）

## 平成27年第2回 阿波市議会定例会 議案番号及び議決結果一覧表

(6月4日～6月29日)

議案番号	議案名	議決結果
議案第41号	平成27年度阿波市一般会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第42号	平成27年度阿波市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第43号	阿波市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第44号	阿波市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第45号	徳島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う徳島県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決
報告第2号	平成26年度阿波市一般会計繰越明許費繰越計算書について	—
報告第3号	平成26年度阿波市水道事業会計予算繰越計算書について	—
—	徳島県後期高齢者医療広域連合議会の議員選出について	選挙
議案第46号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第47号	公平委員会委員の選任について	同意
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任